

「内部事務系システム最適化基本計画（令和３年３月）」において示されている
 現行の本市文書管理システムの課題

内部事務系システム最適化基本計画（令和３年３月）[抜粋]

2 内部事務系システムの現状

(3) 内部事務系システムの課題

ア 基本構想における主な課題

(ウ)文書管理システム

- ・添付ファイルをクリックして開くまでの時間が遅い等のレスポンス性能の問題や、システムの機能不足による業務効率の低下が生じている。
- ・年度切替えのデータをシステム外(Excel)で作成している（文書番号シート等）。
- ・データ抽出における機能不足により、Access ツールでデータ抽出処理等を補完することが多く、Access ツール自体のメンテナンス作業にも相当な事務負担がかかり、業務効率が悪い。

イ 基本計画作成過程での課題

(エ)文書管理システム

- ・文書管理システムでの電子決裁率は約 48.81%（電子供覧含む）と低く、電子決裁率を高めたい。
- ・文書管理システムでは必要なデータを抽出する画面がないため、情報システム課が運用保守業者に依頼する等してデータを抽出している。
- ・文書管理システムのデータを、公文書館に引き継ぐための機能が不足している。
- ・組織改正等による行政文書ファイルの所管替えが煩雑なため、事務負担がかかり、業務効率が悪い。